岡山県記録資料叢書14

岡山県明治前期資料　五

（十八〜二十年）

岡山県立記録資料館

凡例

一　本書は、『岡山県記録資料叢書14　岡山県明治前期資料五』として、当館複製資料の「山陽新報」を中心に、国立公文書館所蔵「公文録」、「公文類聚」、当館所蔵の「岡山県布達」、「岡山県吏野崎家資料」、「上道郡浮田村役場資料」等を翻刻収録した。さらに、県内外諸機関の所蔵資料や刊行物等を調査して引用採録し、適宜関係写真を掲載した。県内外の諸機関に感謝の意を表する。

二　内容は、明治十八～二十年までの岡山県を対象としている。

三　全体の把握と利用の便のため、細目次を設けた。

四　本文は可能な限り原本どおりとしたが、次の措置を講じた。

1　書式や原本の状態は、次のように表した。

ア　平出・台頭・闕字等は省略した。

イ　項目が替わってそのままで見にくい場合は、一行空けまたは改行とした。

ウ　朱書は、その部分をゴシック体で示した。

エ　虫損・破損等は□□でその状態を示し、文字が推定できる場合は右傍に（　）で示した。

オ　原本に使用されている（　）は［　］に置き換え、（　）内の文章等を示した。

カ　原本にある○記号や印は、適宜、○や㊞・印等、似た形状のものに置き換えた。

2　用字・用語は、次のように処理した。
ア　漢字は原則として常用漢字に置き換えた。常用漢字のないものは原本に準じた。異体字・俗字等は正字に直した。
イ　誤字・当て字は推測して右傍（　）に正字を記し、脱字は右傍へ（○が脱カ）と示した。
ウ「山陽新報」の複製状態が悪くて判別しがたい文字は、□□で示した。
エ　変体仮名は現行の平仮名に直した。合字は現行の表記に直した。なお、助詞のニ・而已はポイントを落として使用した。
オ　表記の不統一はそのままとし、あえて統一はしていない。
3　読みやすくするため、次のような措置を講じた。
ア　適宜、読点（、）あるいは並列点（・）を付けた。
イ　難読語には適宜右傍（　）に振り仮名を付けた。なお、「山陽新報」中の振り仮名は、適宜、（　）を付けずに、使用されたそのままを右傍に付記した。
ウ　難解語には、適宜右傍（　）に＊印を付し、簡潔に語釈を付けた。
エ　その他、本文中の（　）はすべて編者による注記である。
五　本文中に職業や身分、疾病・障害・犯罪に関する呼称があるが、事実に基づく科学的な研究を進める立場から、これらをそのまま掲げた。もとよりこの不当な呼称を容認するものではなく、科学的な認識を通じて差別と差別意識の根絶にいたることを望んでいる。読者におかれてもこの立場を理解し、本書を正しく利用されることを期待する。
六　本書の総括は定兼学が行い、編集及び解説は岡長平、原文校正は定兼学・近藤萌美が担当した。

岡山県記録資料叢書14　岡山県明治前期資料　五　目次

口絵
凡例
細目次
解説

細目次

使用資料とその略称一覧……2

一　県治

1　18年1月4日　新任千坂県令の月俸……3
2　18年1月7日　新旧県令、十五日東京を出発し当県へ……3
3　18年1月15日　県下各警察署巡査の人数……3
4　18年1月17日　本県官員の職別員数……3
5　18年1月18日　ハワイ国出稼ぎ志願人の身体検査……4
6　18年1月18日　本県各郡区書記・戸長・御用掛の人数……4
表1　郡区書記・戸長・御用掛人数……4
7　18年1月22日　高崎議官、千坂本県令、昨日昼頃着岡……4
8　18年1月24日　昨年末、本県で賞賜された人々の氏名・業績……5
9　18年1月28日　美作国勝北郡新野西村復旧分村……5
10　18年2月4日　旧県令送別に松の江楼芸妓が後楽園能舞台で芝居……6
11　18年2月6日　郡区長にあてた松の江楼における旧県

令演説……6
12　18年2月7日　美作国勝北郡真加部村復旧分村……6
13　18年2月7日　故原田亀太郎知人らが遺文、碑文の上梓計画……7
14　18年2月8日　県令津山巡回、饗応等一切禁止……9
15　18年2月10日　井原村昨年十二月の市、不景気で人出減少……9
16　18年2月14日　備中玉島港の旧暦年の市不景気……9
17　18年2月14日　県内有志貧民救助の現況……9
18　18年2月14日　浅口郡黒崎村、戸長らが貧民救済……10
19　18年2月14日　賀陽郡総社村雑品の大市不景気……11
20　18年2月20日　岡山協力救貧院、広く有志者を募り永久維持に尽力……11
21　18年2月25日　備中国後月郡山鴨村復旧分村……11
22　18年3月8日　津高郡近村の地租地方税村費諸掛り平均額……12
表2　津高郡近村の地租地方税村費諸掛り平均額……12
23　18年4月　岡山県収税長宛勝北郡長書簡（貢租未納多額について）……12
24　18年5月18日　美作国久米南条郡下籾村復旧分村……15
25　18年6月4日　県下郡区役所合併論、一区十五郡に……16
26　18年6月20日　作州真島郡高田分署の開署式景況……16
27　18年6月30日　岡山県職員録　明治十八年六月三十日改正……17
表3　岡山県職員録……19
表4　岡山学校職員……23
表5　医学校職員……23
表6　岡山県の分課変遷一覧表……24
28　18年9月28日　県が美濃紙漉返しのため美濃国武儀郡へ廻漕……18
29　18年10月3日　関新吾らが謀り東京で岡山苦楽部設立……18
30　18年11月2日　十六年度在府県獄囚徒費不足分十八年度より支弁……25
31　19年1月8日　岡山県収税課長口述要目……25
32　19年4月3日　岡山県令宛野崎万三郎書簡（収税官吏減員減俸の大蔵大臣達への対応方につ

いて）……26
33　19年4月19日　美作国勝北郡勝加茂東村が三村に分裂……29
34　19年6月3日　明治十八年大庭郡統計……29
35　19年7月7日　美作国久米南条郡塚角村が二村に分裂……30
36　19年7月24日　千坂高雅を岡山県知事に任ずる宣下があった旨告示……30
37　19年8月18日　岡山県知事の命令を県令と定め九月より施行……31
38　19年10月28日　地方官官制により岡山区戸長廃止……31
39　19年11月　土地調査の内視員を各郡村々へ派遣する件……32
40　19年11月22日　岡山県収税長宛小田郡長書簡（小田郡土地調査）……32
41　19年12月2日　登記所の位置と管轄区域を定める……34
表7　岡山県内登記所の位置・管轄……35
42　19年12月13日　美作国東北条郡下高倉村が二村に分裂……34
43　19年12月24日　美作国勝北郡中島村が二村に分裂……37
44　20年1月15日　備中国浅口郡六条院村が三村に分裂……37
45　20年4月9日　県庁、四月十一日より八時出頭し午後二時に退庁……37
46　20年7月5日　七月十一日より九月十日までに官員は三十日以内の暑中休暇……37
47　20年7月7日　県庁、七月十一日より八時出頭し正午に退庁……38
48　20年8月8日　岡山県収税長宛津高郡長書簡（新任用収税官の配置依頼）……38
49　20年8月31日　岡山県収税長宛小田郡長書簡（北木島土地調査について）……38
50　20年9月　岡山孤児院趣旨書……39
51　20年9月8日　県庁、九月十一日より八時出頭し午後二時に退庁……41
52　20年9月11日　備前美作両国における本年第二次徴兵徴集人員……41
53　20年9月22日　石井十次が岡山大道三友寺に移る……41
54　20年10月6日　県庁、十月十日より九時出頭し午後三時に退庁……42

＊ 天皇巡幸

55 18年3月21日 巡幸の経路 …… 42
56 18年3月25日 上道郡藤井村の行在所 …… 42
57 18年4月9日 巡幸延引に …… 43
58 18年7月15日 山口広島岡山三県御巡幸の内閣書記官告示案 …… 43
59 18年7月23日 巡幸日程発表 …… 43
60 18年7月23日 随行人御宿の受け入れ体制 …… 43
61 18年7月25日 巡幸予定表及び心得 …… 44
62 18年7月25日 御巡幸随行者宿割り …… 46
63 18年7月26日 岡山区の学校生徒鳳輦奉迎心得 …… 48
64 18年7月27日 御用船、小串よりは大阪商船を使用 …… 49
65 18年7月27日 天皇飲用に雄町村の井戸水 …… 49
66 18年7月27日 岡山区民の奉迎費用 …… 50
67 18年7月28日 県が風紀上の注意諭達 …… 50
68 18年7月28日 岡山区長も心得を諭告 …… 50
69 18年7月29日 巡幸道筋の不潔物等を取り除くよう県が照会 …… 51
70 18年7月29日 岡山区大島尚良が御巡幸御行列の図を製し発売 …… 51
71 18年7月29日 和気郡三石村宝珠院の行在所落成 …… 51
72 18年7月29日 着艦の報知に花畑紡績所の汽笛を使用 …… 51
73 18年7月29日 陸路巡幸に良馬三十五頭を探索 …… 51
74 18年7月29日 岡山での御召馬車が神戸より到着 …… 52
75 18年7月30日 供奉に提供する氷を手配 …… 52
76 18年7月30日 酒等の御用を申し付ける …… 52
77 18年7月30日 蚊遣線香の御用を申し付ける …… 52
78 18年7月31日 巡幸にあわせ八十歳以上の者を調査 …… 52
79 18年7月31日 和気郡八木山へも小憩の仮小屋 …… 53
80 18年8月1日 御用船の請負を願出 …… 53
81 18年8月1日 県庁上局に便所を新設 …… 53
82 18年8月4日 国旗、旗竿の売り上げ増加 …… 53
83 18年8月5日 官吏等の奉迎場所 …… 54
84 18年8月5日 御菓子の御用仰せ付け …… 54
85 18年8月5日 逸見大吉（東洋）らが天覧の出願 …… 54
86 18年8月5日 午後四時三十分三番港へ御上陸 …… 54

87 18年8月6日 御着輦当日の詳報 …… 55
88 18年8月6日 五日夜の岡山市中の景況 …… 56
89 18年8月6日 六日午前、区内各所を巡覧 …… 57
90 18年8月6日 質素な御巡幸 …… 58
91 18年8月7日 六日午後の天覧 …… 59
92 18年8月8日 七日午前、田草取を叡覧、片上分署へ …… 59
93 18年8月8日 阿部川餅の売高 …… 59
94 18年8月8日 天覧者に下賜 …… 59
95 18年8月9日 七日から八日朝の三石の景況 …… 60
96 18年8月9日 侍従長閑谷黌巡覧の様子 …… 60
97 18年8月9日 藤本鉄石遺族へ祭粢料下賜 …… 61
98 18年8月11日 三番港小林嘉四郎の経費と下賜金 …… 61
99 18年8月13日 七日、安西所で西毅一、香川真一らが謁見 …… 62
100 18年8月14日 行在所、御小休所、御野立所等の普請費 …… 62
101 18年8月14日 氷御用の橋本昌平の需用金額 …… 62

＊ **災害**

102 18年6月4日 岡山県下旭川出水被害状況上申 …… 62
103 18年6月4日 今回の連雨により高梁川増水し霞橋流失 …… 63
104 18年6月10日 御野郡、上道郡、九日夜の大雨の出水の状況 …… 63
105 18年6月19日 津高郡白石村、久米村、玉島港洪水の状況 …… 63
106 18年7月2日 大雨につき余裕ある稲苗を保存するよう県勧業課が要請 …… 64
107 18年7月21日 哲多郡大雨出水被害の上申 …… 64
108 19年9月12日 二百二十日の大風雨 …… 65
109 19年9月12日 児島郡曽根村字開墾地の海嘯 …… 65
110 19年9月12日 旭川、一丈二尺以上の水位に …… 66
111 19年9月28日 高梁川も二十五日より出水 …… 66
112 19年9月30日 各地通信による暴風雨水害の状況 …… 67
113 19年10月1日 各地通信による暴風水害の状況続報 …… 69
114 19年10月1日 昨月十日の暴風雨で県下二十一校が破壊被害 …… 70

115 19年10月16日 下道郡、十日と二十五日の風水害状況……70
116 20年5月28日 昨年九月暴風洪水被災者への義捐金配布額……71

二 県会

使用資料とその略称一覧……74

※ **津高郡**

1 18年3月8日 津高郡加茂郷の近況……75
2 18年6月23日 備前津高郡金川村の通信……75

※ **赤坂郡**

3 19年8月19日 備前赤坂郡通信……76
4 19年9月2日 備前赤坂郡通信……76

※ **磐梨郡**

5 18年12月8日 備前磐梨郡通信……77

※ **和気郡**

6 19年6月25日 備前和気郡西片上村通信……77
7 19年6月26日 備前和気郡通信……78

※ **邑久郡**

8 18年10月3日 邑久郡牛窓港通信……78
9 19年4月9日 備前邑久郡犬島通信……79

※ **上道郡**

10 18年2月15日 備前上道郡西大寺村景況……80
11 18年3月10日 備前上道郡藤井村近況……80

※ **児島郡**

12 18年9月12日 備前児島郡通信……81
13 19年3月27日 備前国児島郡東野崎村通信……81

※ **都宇郡**

14 18年3月12日 備中都宇郡通信……82
15 18年4月24日 備中国都宇郡撫川村通信……84

※ **窪屋郡**

16 18年10月11日 備中倉敷通信……84
17 19年4月11日 備中窪屋郡通信……85

※ **浅口郡**

18 18年4月8日 備中浅口郡玉島港景況……86
19 18年10月20日 浅口郡勇崎村通信……87
20 19年2月9日 佐見の竜王山……88
21 19年2月18日 備中浅口郡里見村々況……88

※ **小田郡**
22 18年9月5日 備中小田郡通信 …… 89
23 18年11月6日 備中矢掛通信 …… 89
24 19年1月21日 笠岡通信 …… 90
25 20年9月21日 小田郡北木島通信 …… 90
※ **後月郡**
26 18年3月20日 備中後月郡通信 …… 91
27 19年2月2日 井原の大市 …… 91
※ **下道郡**
28 18年7月9日 備中下道郡通信 …… 92
29 20年1月28日 下道郡秦村通信 …… 92
※ **賀陽郡**
30 18年4月21日 備中賀陽郡上足守村景況 …… 93
31 18年8月20日 備中国賀陽郡総社村通信 …… 95
※ **上房郡**
32 18年7月7日 備中上房郡高梁通信 …… 95
33 20年9月21日 上房郡竹ノ荘郷通信 …… 96
※ **川上郡**
34 18年10月24日 備中川上郡通信 …… 97
35 19年2月20日 備中川上郡成羽略況 …… 97
36 19年8月1日 備中川上郡下原村通信 …… 98
※ **阿賀郡**
37 19年5月27日 備中阿賀郡新見村通信 …… 98
※ **真島郡**
38 19年2月23日 真島郡垂水村近信 …… 99
39 19年7月1日 美作真島郡高田村通信 …… 100
※ **大庭郡**
40 18年3月23日 作州大庭郡久世市街の近況 …… 100
41 19年5月23日 美作国大庭郡下長田村通信 …… 101
42 20年3月5日 大庭郡通信 …… 101
43 20年8月25日 大庭郡通信 …… 102
※ **西西条郡**
44 19年3月31日 作州西西条郡通信 …… 102
45 20年3月25日 西西条郡通信 …… 103
※ **西北条郡**
46 18年2月20日 作州津山通信 …… 104

47 20年4月3日 西北条郡津山通信 …… 104
※ **東南条郡**
48 20年7月29日 東南条郡高野通信 …… 105
※ **東北条郡**
49 20年1月16日 東北条郡高倉村通信 …… 106
※ **勝北郡**
50 18年8月12日 作州勝北郡通信 …… 106
51 18年10月27日 作州勝北郡通信 …… 108
52 20年1月9日 勝北郡通信 …… 108
※ **吉野郡**
53 19年1月30日 吉野郡通信 …… 109
54 20年9月25日 吉野郡通信 …… 110
※ **英田郡**
55 20年10月11日 英田郡通信 …… 110
56 20年10月29日 英田郡海田村通信 …… 110
※ **勝南郡**
57 18年9月7日 美作国勝南郡通信 …… 111
58 18年10月13日 作州湯郷村通信 …… 112
※ **久米北条郡**
59 19年12月18日 久米北条郡中北上村通信 …… 112
60 20年3月18日 久米北条郡通信 …… 112
※ **久米南条郡**
61 19年3月23日 美作久米南条郡通信 …… 113
62 19年10月23日 久米南条郡高尾村通信 …… 114

三 県会

使用資料とその略称一覧 …… 116
1 明治18〜20年 岡山県会開会一覧 …… 117
表8 明治18〜20年 岡山県会開会一覧 …… 117
2 明治18〜20年 岡山県会議員一覧 …… 117
表9 明治18〜20年 岡山県会議員一覧 …… 118
3 18年2月6日 和気郡有志が前県会議員三村久吾に記念品 …… 117
4 18年3月2日 通常岡山県会開会式執行 …… 120
5 18年3月3日 二日の県会は喫飯後、動議により閉会 …… 122
6 18年3月13日 巡幸につき開議時間変更 …… 122
7 18年3月26日 通常県会、昨日閉場式 …… 122

8　18年3月26日　臨時県会、昨日午後七時開場式……123
9　18年3月28日　臨時県会、昨日議事結了、本日閉場式挙行……123
10　18年8月10日　臨時県会開場式……123
11　18年8月13日　臨時県会、本日閉場式……124
12　18年10月8日　岡山区中の県会議員有資格者数……124
13　18年10月13日　児島郡内の県会議員撰挙有資格者数……124
14　18年11月10日　通常県会　昨日議員召集、本日開場式執行……124
15　18年11月15日　昨日の県会、区町村教育費補助等につき質疑……125
16　18年12月12日　九日に通常県会を閉会……126
17　19年1月7日　西西条郡有志が県会議員河田敬正の慰労会……126
18　19年2月3日　議長撰挙等のため臨時県会を十日に開催……127
19　19年6月26日　臨時県会の開催と議案予告……127
20　19年7月10日　臨時県会、昨日開会……128
21　19年7月16日　臨時県会、議了し昨日閉会……128
22　19年11月23日　臨時県会、昨日開会……129
23　19年11月28日　臨時県会閉場式に引き続き通常県会開場式……130
24　19年12月18日　通常岡山県会、十七日閉場……130
25　20年3月8日　臨時県会、十一日に開設……130
26　20年3月18日　臨時県会、十六日に閉場式……131
27　20年6月21日　三月調べ県会議員選挙の有権者数……131
28　20年9月17日　臨時県会、十六日開場……131
29　20年9月20日　臨時県会、昨十九日閉場……131
30　20年11月15日　通常県会、来月二十二日開設……132
31　20年12月18日　二十一年一月中に改選する議員の郡別人員……132

四　産業経済

使用資料とその略称一覧……134

＊**農林水産**

1　18年1月4日　高梁の銃砲弾薬免許商広告……135
2　18年1月6日　津山地方の楮、暴風により五割方値上

げ …… 135
3 18年1月8日 津山、真島郡高田村の煙草製造者 …… 135
4 18年1月11日 稲の肥料に琵琶湖辺から蓮華草の種買入れ …… 135
5 18年1月13日 児島郡宇藤木村、都宇郡妹尾村養貝相場 …… 136
6 18年1月15日 岡山区市外の農民、農間に紙漉 …… 136
7 18年1月17日 備前磐梨、和気、赤磐の割木相場 …… 136
8 18年2月24日 両備作に備作農商会を設置し概則を定める …… 136
9 18年3月14日 上道郡平井名産の鱠残魚下落 …… 140
10 18年3月14日 県下河川における鮎漁の制限 …… 141
11 18年4月18日 県下小作慣行に関する調査 …… 141
12 18年5月15日 児島湾付洲各村の小作の慣行 …… 142
13 18年6月24日 作州における笹の実の相場 …… 146
14 18年12月17日 備中後月郡高屋村の薄荷の収利予測 …… 146
15 19年1月7日 岡山区中の便所の糞尿を七百円で請け負う …… 147
16 19年3月 笠岡村有志発起で農商社設ける …… 147
17 19年4月 後楽園で第一回獣医開業試験を実施 …… 147
18 19年5月 葡萄栽培にかかる大森熊太郎雑記 …… 148
19 19年5月 阿賀郡千屋市場牛馬市来歴 …… 148
20 19年6月1日 真島郡菅谷村大杉牧場現況 …… 149
21 19年8月 明治19年分県下繭産額郡別概算表 …… 150
表10 岡山県下繭産額概算表 明治19年分 …… 150
22 19年8月16日 児島湾養貝許可延期出願につき達 …… 150
23 19年11月27日 児島郡八浜村所在の灰貝営業組合 …… 151
24 19年12月1日 県下蚕糸業組合員数 …… 151
25 20年 貸与桑苗関係書類（抄） …… 152
26 20年1月18日 東備名産高島海苔広告 …… 156
27 20年1月20日 十八年取調の県下民有銃砲の数 …… 156
28 20年3月13日 児島湾の灰貝組合と販売高 …… 156
29 20年4月23日 和気郡日生村と徳島県勝浦郡小松島浦村との漁場紛紜 …… 157
30 20年4月24日 中川横太郎ら発起で鳶の大会を計画 …… 158
31 20年6月16日 哲多郡の茶業の景況 …… 158

32　20年8月21日　徳島県沿岸魚業に関する徳島県令……158
＊商工業
33　18年1月　集整社第十六回報告書……159
34　18年1月6日　現今岡山区中の紙卸売り相場……162
表11　岡山区中の紙卸売り相場……163
35　18年1月9日　岡山区中の鉛相場、朝鮮騒動で値上がり……162
36　18年1月10日　籠葬式受負い増え棺桶値下げ……163
37　18年1月10日　皇居御造営に瓦四十万枚を調製……163
38　18年1月11日　御野郡二日市七日市両村の瓦製造の景況……164
39　18年1月14日　津高郡の地所売買相場高騰……164
40　18年1月20日　岡山区中の木地挽業者の現況……165
41　18年1月23日　岡山郵便局昨年中の為替額……165
42　18年5月3日　上房郡で商議、麦わら細工技術伝習で上京……165
43　18年5月4日　西洋洗濯開業広告……166
44　18年5月13日　岡山区の湯屋が浴室規則を定める……166
45　18年5月14日　味野村野崎家家僕西井多吉事跡……167
46　18年5月22日　岡山区上之町甚九郎稲荷内に簿記講習所開設広告……168
47　18年5月28日　岡山区料理屋広告　丼、東京料理ほか……168
48　18年6月25日　都宇郡役所で菓子税則実施打ち合わせ……168
49　18年7月17日　十州塩田会、塩田銀行設立を目論む……169
50　18年8月12日　伊部焼の筒かめ数万本を本県へ注文……169
51　18年9月26日　岡山区細謹舎が束髪具（ヘアーピン）発売……169
52　18年10月20日　後月郡井原養考軒の西洋製滋養菓子広告……170
53　18年11月4日　塩田所在村惣代人中より十州塩田同盟の惣代人を撰ぶ旨達……170
54　18年11月13日　岡山区栄町の洋服裁縫店広告……171
55　18年12月19日　杉山岩三郎へ貸下金利引を以て一時返納の件……171
56　18年12月31日　商業諸会社一覧……172
表12　商業諸会社一覧……173

57　19年2月　本月までの県下専売特許者一覧……172
58　19年2月6日　偕行社倒産、最終報告書を株主へ頒布…172
59　19年2月12日　県勧業課に報告掛を置き統計事務を拡張……174
60　19年2月17日　岡山紡績会社へ組織改良資金として農商務省より八千円貸下……174
61　19年4月　錦莞莚発明人磯崎眠亀履歴……175
62　19年4月6日　玉島港八木楼別席米花亭会席料理広告…176
63　19年5月29日　作州真島郡真賀温泉現況……177
64　19年6月9日　岡山区で金花糖の売り上げ好調……177
65　19年7月6日　明治生命保険岡山出張所で申込人体格診査……178
66　19年9月18日　伊部陶器沿革……178
67　19年10月17日　岡山県製糸事業の沿革と現況……180
表13　山陽製糸社損益表……182
68　19年10月21日　高梁救済麦藁会社の景況……182
69　20年1月14日　備前赤坂郡の銅山の記録……183
70　20年1月19日　十九年度中の醤油製造営業者数と廃業者数……183
71　20年1月25日　岡山区の岡山商業学会設立広告……183
72　20年4月7日　備中有志者等の紡績所目論見の廃止……184
73　20年4月27日　吉岡銅山事業拡大で農商務一等技師を委嘱……184
74　20年5月15日　大阪の豪商藤田伝三郎、内外に生糸店…185
75　20年7月15日　備中国小泉銅山の景況……185
76　20年8月12日　岡山紡績所、本年上半期事業の景況……185
77　20年8月12日　哲多郡農商談話会、勧業費増加を決議…186
78　20年12月　旧小田県殖産会社について該地戸長より知事に伺……186
79　20年12月16日　児島湾沿岸の下渡地の区画紊乱で調査…188
＊　**交通通信**
80　18年1月11日　往復郵便はがき、岡山市中でも発売……189
81　18年1月14日　岡山区瀛衛会社、昨年の神戸大坂行き人数等……189
82　18年1月15日　岡山区瀛衛会社、昨年の荷物出入り数…189
表14　岡山区瀛衛会社明治17年取扱い荷物数量……190

83　18年1月20日　備前上道郡門田村字峠の通行人等調べ……189
84　18年1月22日　昨年中岡山郵便局取扱いの郵便物……190
表15　岡山郵便局明治17年取扱い郵便物数量……191
85　18年2月1日　大坂商船会社が岡山と三番港に支店開設……190
86　18年2月7日　大坂商船会社、岡山よりの上下線乗船者数……191
表16　大坂商船岡山発乗員統計……191
87　18年2月18日　軍隊・砲車行き逢う時は右方に避譲……191
88　18年2月21日　大坂商船会社岡山区船着町出張店開業式概要……193
89　18年2月27日　岡山より作州津山間の道路修繕……193
90　18年3月6日　三菱、共同運輸両会社の取り決め……194
91　18年3月8日　岡山区岡山学校西の小川に私費で架橋……195
92　18年3月17日　聖上立寄りで三番港から小橋町の道路修繕……195
93　18年3月18日　聖上立寄りで三番港に桟橋計画……196
94　18年3月20日　児島郡宮浦村高島へ白色光灯台築造出願……196
95　18年4月21日　京橋、二十六日の招魂祭日までの落成めざす……196
96　18年4月21日　上道郡国道筋の大修繕、成功の趣……196
97　18年5月21日　岡山区の三名が発起、旭川浚鑿し新港築造……197
98　18年5月29日　岡山区栄町郵便局の配達員増員……197
99　18年5月29日　人力車等の取締に駅逓取締を設置……197
100　18年6月6日　寄書　自転車は危険なため取り締まりを……198
101　18年6月27日　建部、福渡間旭川に郵便物等の鉄金渡し計画……198
102　18年7月3日　郵便局改革で岡山郵便局の配達部内増加……199
103　18年7月7日　岡山郵便局が私書箱設置を伺い……199
104　18年7月9日　霖雨被害の鶴見橋、明日より修繕に着手……199
105　18年7月10日　駅伝取締人投票結果、中川横太郎が正

取締に……200
106 18年7月16日 賀陽郡総社郵便局、十八年前半期取扱い高……200
107 18年7月23日 国県道に建設の一里毎の石標にかかる達……200
108 18年7月25日 岡山区駅伝取締所、昨日移転し事務執行……201
109 18年8月8日 岡山郵便局がポスト十九個増設……201
110 18年9月4日 岡山区組合駅伝取締人と人力車夫との悶着……201
111 18年9月11日 後楽園から原尾島までの道路自費修繕を出願……201
112 18年9月20日 岡山郵便局が郵便ポスト設置……202
113 18年10月24日 岡山県収税長宛久米南条郡長書簡（一等県道改修について）……202
114 19年1月26日 岡山区の人力車、荷車の数……202
115 19年2月4日 小橋町国清寺前へ新港の築港を出願……203
116 19年3月1日 制服巡査等の橋梁渡津賃銭請求を禁ずる旨布達……203
117 19年3月2日 備前上道郡倉安川の浚鑿計画……203
118 19年3月27日 後楽園への通路鶴見橋、宗忠神社祭典により多くの通行人……204
119 19年4月18日 神坂地方の相場を岡山まで旗通信により伝達……204
120 19年5月22日 吉井川の雄川橋欄干を改修……204
121 19年6月15日 足守川修堤落成式の景況……205
122 19年9月1日 津高郡辛香坂の工事入札……205
123 19年9月21日 岡山港より阪神方面の定期便増便……205
124 20年1月16日 岡山駅逓局における三が日の年始葉書の数……206
125 20年4月19日 山陽鉄道会社第二発起人に県内六名が指定……206
126 20年4月26日 西大寺の永安橋、満期となり橋銭徴集廃止……206
127 20年4月27日 岡山区柳川の浚鑿、広瀬町から着工……207
128 20年7月19日 山陽道鉄道発起者・株主一同が総集会

129 20年7月23日 本年前半期の岡山駅逓組合各種業態の開催……207
表17 岡山駅伝組合業態別人員……207
人員……208
130 20年8月9日 児島湾開墾の予算・町数……207
131 20年9月17日 山陽鉄道の県内停車場がほぼ決まる……208
132 20年9月23日 上房郡高梁川筋の堤防工事落成……209
133 20年10月23日 下道郡における高梁川粗朶工事、成果上げる……209
134 20年12月19日 邑久郡磯上村順見橋の改修願……210

五 教育文化

使用資料とその略称一覧……212

＊教育制度

1 18年1月9日 下道郡学事会規則……213
2 18年2月13日 本県師範学校卒業証書授与式概要……214
3 18年2月15日 岡山区又新小学校に幼稚科設置出願……216
4 18年2月17日 師範教師を招き上道郡で有志会員が英学研究……217
5 18年2月19日 真島郡高田村小学教員養成所開業式景況……217
6 18年2月21日 同志社、漢学科教師に坂田警軒を聘用……218
7 18年2月24日 岡山県師範学校卒業生との懇親会概要……218
8 18年3月2日 県立中学校師範学校を岡山学校と改称……220
9 18年4月15日 真島郡学術奨励会出品申合規則……220
10 18年5月18日 岡山県岡山学校女子科規則……221
11 18年5月23日 県立岡山学校、女子科生徒募集広告……222
12 18年6月26日 津下クメ子の発起で婦女子の教育所を設置……223
13 18年12月19日 子弟教育に尽くした故山本惺岩の石碑建設……223
14 19年1月15日 戸長学務取扱心得を制定……223
15 19年1月21日 岡山区五小学を三小学に合併……225
16 19年6月12日 岡山区に私立岡山女学校新設記事……225
17 19年8月18日 岡山学校を尋常師範学校・尋常中学校と改称……226
18 19年9月8日 公立学校地の免租につき進達……226

19　20年1月11日　三学区に合併した岡山区が五学区復置を具申……226
20　20年3月15日　小学校校則を定める……227
21　20年3月23日　町村立小学校職員俸額を定める……229
22　20年8月4日　岡山区で幻灯会が流行……230
23　20年8月19日　岡山に第三高等中学校医学部を置く……230
＊　**教育現況**
24　18年1月20日　後月郡立高等小学校、七日に開校式執行……230
25　18年3月7日　津山新魚町の以聞舎に英学課を設ける……231
26　18年3月12日　賀陽郡西村の回春小学校現況……231
27　18年4月12日　窪屋郡倉敷小学校へ幼稚科設置計画……231
28　18年4月15日　賀陽郡竹部小学近況……232
29　18年4月25日　上房郡高梁の私立和成裁縫校の大運動会……232
30　18年5月10日　岡山学校、生徒操練用に小銃二百挺借入れ……233
31　18年6月19日　和英学舎入学願……233
32　18年7月21日　備中後月郡井原村、英書リードル購求し勉強……234
33　18年8月27日　閑谷黌、英学科を加えるため英学教師雇入れ……234
34　18年11月14日　私立岡山県教育会創立、規約協議……234
35　18年11月21日　私立岡山県教育会、総理に千坂県令……234
36　18年12月3日　備中小田郡学況……234
37　18年12月10日　文部省教育沿革史資料のうち岡山県内私塾……235
38　18年12月22日　岡山区弘西小学から二十日出火……235
39　19年2月　中川横太郎ら発起で女子原泉会開設……235
40　19年2月14日　備中浅口郡道越村有志が夜学設置……236
41　19年4月22日　明治十八年岡山県学事概況……237
42　19年5月27日　上道郡大多羅村上道小学校で上道郡教育会開会式……238
43　19年7月　川上郡東部私立研究会の概況……239
44　19年9月16日　秋期吉野郡教育会の概況……239
45　19年9月21日　山陽英和女学校設立趣旨……240

46　19年9月29日　山陽英和女学校の設立開学広告 …… 240
47　19年10月26日　津高郡今福小学校と建部小学校が合併 … 241
48　19年11月9日　西北条郡、東南条郡両郡教育会の近況 … 241
49　19年11月11日　大庭郡赤野村逝川小学校が十五日に開校式 …… 242
50　19年11月13日　児島郡赤崎小学校、生徒増加し学業進歩 …… 242
51　19年11月16日　大庭郡南部の小学校で比較試験実施 … 242
52　19年11月16日　賀陽郡総社村申義小学校が証書授与式 … 243
53　19年11月18日　御野郡福田村孟禿小、児童増加で校舎増築 …… 243
54　19年12月2日　岡山区の婦人英学舎始業広告 …… 243
55　19年12月10日　窪屋郡秋期進級試験の北部各校の成績 … 243
56　19年12月11日　和気郡奥吉原村に新聞購読等の脩誠会発起 …… 244
57　20年3月11日　岡山区の岡山商業学講習所、生徒募集広告 …… 244
58　20年4月6日　県尋常中学校内に図書縦覧所の計画 …… 245
59　20年6月9日　吉野郡の二尋常小学校が新築開校式 …… 245
60　20年6月12日　磐梨郡の各小学校、新築や新築計画 …… 245
61　20年7月16日　二校合併し英学教授の岡山育英館設立広告 …… 246
62　20年7月20日　阿賀郡第二番学区尋常雲洞小学校に高等科を併置し開校式 …… 246
63　20年8月19日　岡山薬学校設立生徒募集広告 …… 246
64　20年9月11日　山陽英和女学校が上道郡門田村に移転 … 247
65　20年9月16日　英田郡尾谷村に女紅場設置 …… 247
＊　**出版抜萃**
66　表18　明治前期（〜20年）岡山県新聞創刊順一覧 …… 247
67　表19　明治前期（〜20年）岡山県雑誌創刊順一覧 …… 247
68　18年1月4日　金光孝太郎山陽新報社退職稟告 …… 247
69　18年2月7日　故進祥山翁の遺稿上梓を門下生が計画 … 250
70　18年2月20日　詩文研究誌「戞声詞叢」発行元戞声館規則 …… 250
71　18年4月14日　御巡幸御行粧之図発兌稟告 …… 250
72　18年7月28日　吉備日日新聞の行幸記事につき警察召

喚 …………………… 251
73　18年7月29日　吉備日日新聞の原稿分からず …………… 251
74　18年9月29日　山陽新報の夕刊打切りと購読料引き下げ広告 …………… 251
75　18年10月6日　岡山区細謹舎が二種の小学読本を出版 … 252
76　19年1月28日　山陽新報社鈴木巻太郎の経済雑誌株主募集広告 …………… 252
77　19年2月3日　向陽社、二十余名を解職し財政節約 …… 253
78　19年2月16日　広告　吉備日日新聞、三月より値下げ … 253
79　19年4月9日　玉島で郁々会誌発行計画・会員募集広告 …………… 254
80　19年8月19日　山陽新報掲載をもって県諸達示類公布式とする旨社告 …………… 254
81　19年8月19日　県令第一号　県令公布式 ………… 255
82　19年8月22日　向陽社広告　吉備日日新聞は県令・告示等別印刷 ………… 255
83　19年8月26日　岡山区などで公布式新聞の縦覧所設置 … 256
84　19年9月21日　岡山区弓之町明治舎内に山陽新報縦覧所 …………… 256
85　19年11月17日　山陽新報津山売り捌き所の鶴陽館が読者愛顧に趣向 …………… 256
86　19年12月23日　久米北条郡坪井下村に山陽新報縦覧所 … 257
87　20年1月13日　各府県における新聞紙の公布式報酬の状況 …………… 257
88　20年1月20日　山陽新報社の懸賞小説募集広告 ………… 257
89　20年2月19日　精光堂製本屋開業広告 ………… 258
90　20年5月31日　向陽社広告　吉備日日新聞本日限り廃刊 …………… 258
＊**文化宗教**
91　18年1月18日　17年中地区ごと貸座敷・娼妓の数 …… 259
表20　明治17年中の貸座敷・娼妓の数 ………… 259
92　18年1月21日　本県下流派ごと画人八十九人列挙 …… 260
93　18年1月23日　山鴫村清和寺再興のための書画展覧会 … 261
94　18年1月25日　都宇郡妹尾村、キリスト教信者追々増加 …………… 261
95　18年1月30日　岡山区野田屋町一富士楼の芸妓の得手

不得手 …… 262
96 18年2月2日 後楽園で武者的等の演武、高崎議官ら縦覧 …… 262
97 18年2月2日 本日岡山区文武館仮開業式 …… 262
98 18年2月4日 春郊晩帰をお題に津山で詩会開催 …… 263
99 18年2月24日 岡山区上出石町大森神社の会陽 …… 263
100 18年3月2日 西大寺村観音院会陽、四万人の賑わい …… 263
101 18年3月6日 国清寺で山鳴村清和寺零落挽回の展覧会 …… 264
102 18年3月7日 児島郡天城村、耶蘇教信者追々蔓延 …… 264
103 18年4月9日 東備文学会規則 …… 265
104 18年4月12日 聖上立ち寄りに合わせ逸見大吉自刻品を調製中 …… 267
105 18年4月25日 上房郡高梁で耶蘇教葬式の紛紜 …… 267
106 18年4月29日 画学教師松原三五郎が天彩学舎設置 …… 268
107 18年4月30日 五月四日より児島郡藤戸寺の祖師法会 …… 268
108 18年5月28日 岡山区十傑選抜投票広告 …… 268
109 18年6月16日 逸見大吉、古刀買入広告 …… 269
110 18年6月19日 岡山十傑当撰者 …… 270
111 18年7月9日 津山十傑当撰者 …… 270
112 18年7月14日 京橋南の奈良茶店、その筋より営業許可 …… 271
113 18年9月8日 賀陽郡総社村近辺で神仏の軋轢 …… 271
114 18年12月24日 芸妓取締規則を定め来年一月十九日より施行 …… 272
115 18年12月26日 岡山基督教会におけるクリスマスの様子 …… 273
116 19年1月20日 彫金家正阿弥勝義広告、疑名品に注意 …… 273
117 19年2月10日 作州真島郡高田村十傑 …… 274
118 19年2月17日 岡山区中の芸者屋、一富士楼のみ値上げせず …… 274
119 19年2月27日 広告　津山西寺町某住職への誹謗記事は無根 …… 274
120 19年7月28日 岡山区橋本町旭川沿いの雁木亭差止め …… 275
121 19年7月31日 土用丑の日の慣習、不景気のためか減少 …… 275

122 19年8月7日 正阿弥勝義、奈良博覧会で一等賞牌 …… 276
123 19年10月1日 東京で人気の吉備楽を岡山で伝習 …… 276
124 20年2月19日 岡山区西中島町栴檀の木の稲荷の会陽の様子 …… 276
125 20年4月30日 県下の神官、僧侶、及び社、寺、堂の数 …… 277
126 20年6月22日 岡山県画事講習会を開催 …… 277
127 20年8月13日 撫川団扇、よく売りさばける …… 277

＊**衛生医療**

128 18年2月25日 後月郡有志設立の衛生講談生成会、来月開会 …… 278
129 18年2月27日 開業医師組合規則を定め五月一日より施行 …… 278
130 18年4月22日 都宇郡南部・窪屋児島両郡の肝臓寄生虫病 …… 280
131 18年4月30日 麻疹流行につき学区病勢により休校すべき旨達 …… 281
132 18年6月3日 岡山区衛生委員が土葬廃止建議を議決 …… 281
133 18年6月20日 美作国諸村で食用の小篠の実、無毒との県広告 …… 282
134 18年7月29日 岡山区で歯科開業広告 …… 282
135 18年8月22日 中川横太郎らが発起で上道郡平井村へ焼屍場設置を協議 …… 282
136 18年8月26日 衛生医員を廃止し事務を戸長に引き継ぐ旨達 …… 283
137 18年9月3日 町村衛生事務条項設置 …… 283
138 18年10月21日 岡山区山崎町眼科医開業広告 …… 284
139 18年12月16日 岡山県士族芳村晋海軍大軍医に被任の件 …… 285
140 19年1月24日 岡山区開業医師組合、診断料等即収の広告 …… 286
141 19年2月26日 天然痘患者増加につき再種等を促す諭達 …… 286
142 19年3月3日 美作国久米南条郡、西西条郡の種痘の状況 …… 287
143 19年8月10日 備中沙美浦浴潮所近況 …… 287
144 19年12月23日 岡山区各所の小便所個数 …… 288

145　20年1月5日　県立病院、受付などを婦人に改める……288
146　20年1月20日　紙漉の排水を旭川上流から流すことを差止め……288
147　20年1月29日　薬舗取締規則により来年一月に試験実施……288
148　20年6月28日　地方衛生会を県庁で開催……289
149　20年7月16日　田ノ口海水浴場、場所を琴ノ浦に移して開設の広告……289
＊　**コレラ**
150　18年9月1日　長崎で虎列剌病発生、県内三港に船舶検査所設置……289
151　18年9月5日　六港に船舶検査所増設……290
152　18年9月9日　虎列剌病猛威のため県庁内に船舶検査本部を設置……290
153　18年10月22日　虎列剌病予防にかかる県令の諭告……290
154　18年11月5日　県内六ヶ所に検疫所増設……291
155　18年11月7日　虎列剌病流行の兆候により上道郡門田村奥市に避病院……291
156　18年11月8日　虎列剌病流行のため金刀比羅宮に参拝しないよう求める達……291
157　18年11月21日　虎列剌病下火のため検疫所四ヶ所廃止……292
158　18年12月5日　御野郡十九ヶ村、虎列剌病沈静で通常の屎尿処理に……292
159　19年2月13日　大坂府下で虎列剌病死者多数につき予防に努めるよう告示……292
160　19年5月12日　大坂等で虎列剌病流行につき用務なく該地往復しないよう諭達……293
161　19年5月14日　大坂等で虎列剌病流行につき県内三ヶ所に船舶検査所設置……293
162　19年5月19日　八ヶ所に船舶検査所を設置……293
163　19年6月1日　虎列剌病流行の兆候により県下十二郡の祭礼劇場停止……294
164　19年6月7日　岡山県外三県を虎列剌病流行地に認定……294
165　19年6月18日　虎列剌病予防のため木野山神社への多数参詣を禁止……295
166　19年6月24日　津高郡金川村の虎列剌病患者排泄物を

旭川に投棄……295
167 19年6月29日 虎列刺病診断について戸長へ通達……295
168 19年8月31日 美作国郡役所等へ多人数集合する事業禁止を達……296
169 20年8月25日 冊子配布し虎列刺病予防に注意するよう訓令……296
170 20年10月 明治十九年岡山県虎列刺病流行紀事……296

岡山県明治前期資料　五　解説

一　『岡山県明治前期資料五』の概要

『岡山県明治前期資料』は、岡山県域の確定した明治九年（一八七六）から、明治立憲体制の成立する同二十二年（一八八九）頃までの岡山県を対象に、当時の岡山県にとっての重要資料や稀少資料、新たに発掘した資料を編集刊行している。これまでの刊行状況は下表のとおりである。

本年度は、十七年末に高崎県政を引き継いだ千坂県政の開始から三年間の明治十八〜二十年の時期を対象とした。

一般に明治十九年下半期より鉄道、紡績などの企業熱が起こるといわれているが、明治十七年松方デフレ以来、岡山県全般的のこの時代を貫くキーワードは「不景気」である。

明治十年の西南戦争ごろを頂点としたインフレは、同十四年ごろから始まった政府のデフレ政策を受け、岡山県もデフレを進行させた。県下各地からの通信に共通するのは、その地の不景気であり、民間レベルでの救恤事業が伝えら

『岡山県明治前期資料』の刊行状況

標題	年度	内容
岡山県記録資料叢書10 『岡山県明治前期資料一』	平成26	明治９〜10年 新岡山県高崎県政の開始
岡山県記録資料叢書11 『岡山県明治前期資料二』	〃　27	明治11〜12年 民会の再開と県会の設置
岡山県記録資料叢書12 『岡山県明治前期資料三』	〃　28	明治11〜12年の残りと明治13〜14年 高崎県政と県会の対立・民権運動の高揚
岡山県記録資料叢書13 『岡山県明治前期資料四』	〃　29	明治15〜17年 民権運動の衰退と高崎県令の転任
岡山県記録資料叢書14 『岡山県明治前期資料五』	〃　30	明治18〜20年 千坂新県政

れる中、明治二十年九月、石井十次の岡山孤児院が設けられる。

明治十八年、天皇は山陽道巡幸の旅に出られ、八月五日来岡、七日朝に陸路出発され、三石で一泊された後、翌朝姫路に向け出発された。天皇の来岡は、初めてのことであり、この時期の岡山県における最も大きな出来事といえよう。当時の様子を逐一伝える山陽新報記事のほか、岡山市立中央図書館所蔵「国富文庫」から関係資料を翻刻した。

二　『岡山県明治前期資料五』の構成と内容

本書の構成は、県治・郡村通信・県会・産業経済・教育文化の五章とした。個々の資料の編集方法は、凡例に示したように昨年度のものをほぼ踏襲している。また各章の構成は、掲載資料を年月日順に並べ、一・四・五章では小項目を設けてその中を年代順に配置している。資料出典は各章の冒頭部分に一括掲載し、個別資料にはそれを略称で示した。また各資料には章ごとに通し番号を付し、その資料の内容をできるだけ端的なタイトルで示した。資料の年月日は初出のものを記し、再申や竣工日などがある場合もここでは記していない。なお「山陽新報」からの引用は、その記事内容をタイトル冒頭の日付で示し、掲載の日付を出典部分に付けた。

収録した資料の総数が長短合わせて五一三点にのぼったため、細目次では標題をさらに簡略化した。各章の内容や注目点は次のとおりである。

第一章は「県治」とした。ここでは、貧民救済などのほか、人口、戸籍などの基礎数値や、警察報告等、県政や郡区町村の実態をうかがい知ることのできる資料を収録したほか、昨年度、一昨年度に引き続き、明治十八年六月発行の「岡山県職員録」を翻刻収録した。併せて現行の岡山県が成立した明治九年以降の岡山県庁各課の変遷一覧表を『岡山県政史』をもとに表にまとめた。全体として当時の県政の体制を明らかにし、県令（地方官制により十九年七月より県知事）のもとで起こった諸事件を振り返る内容と

している。

天皇巡幸関係記事は、小項目のもとに収録した。巡幸地に残る記念碑等を写真版で掲載するほか、当時出版された「岡山県御巡幸略図」を口絵に収録する。

明治十九年九月には、十一日、二十五日の二回にわたり、三大河川が大洪水に見舞われる。被害の状況を伝える資料を、山陽新報を中心に、災害の小項目を設け収録する。また、この時期は分村が多かった。

第二章では、明治十八～二十年の県下各郡村の現況を収録した。山陽新報の県下各所の通信員が寄せる通信記事を中心に、吉備日々新聞からも収集し、地域順に編集した。

山陽新報は、県令の交替によって吉備日々新聞への保護が解除されたことに機を得て紙面刷新を図り、攻勢に転じた。明治十八年二月からの夕刊発行である。これは、同年一月の東京日々新聞に続きわが国二番目、地方紙では最初のことであった。同時に朝夕刊となることで記事量もほぼ二倍となり、郡村通信員からも頻繁に通信が寄せられている。

この時期の郡村通信に共通するのは「不景気」である。郡村により程度こそ違え、当時の県内各地域の惨状を生々しく伝える。

第三章では明治十八～二十年の「県会」の概要を収録した。明治十二年の県会開設以来、県会と前県令高崎五六の関係は基本的に対立にあったが、千坂新県令と交替したこの期間、大きな問題は起こっていない。ここでは、明治十八～二十年の間に開かれた通常会三回、臨時会八回の計十一回の開会当初の議員を一覧にまとめた。今後これら議員個々に関する資料の発掘が期待される。会場は、明治十七年三月の後楽園県有化以来、国清寺から後楽園に変わっている。また、各県会の議案、審議結果等は『岡山県会史』に載っているため省略したが、山陽新報掲載記事など、公的記録によらない県民視点での資料を収録するよう努めた。

第四章は「産業経済」をテーマとし、「農林水産」「商工業」「交通通信」の小項目を設けた。

「農林水産」関係では、肥料の工夫、同業組合の設立等、増産のための取組が行われる。和気郡日生村と徳島県では沿岸漁業に係る紛紜が起こり、徳島の組合員以外の漁を禁止する徳島県知事の県令を、岡山県知事が周知する告示を発する事態となった。

「商工業」関係では、引き続き、様々な分野で事業導入が図られるが、当時の会社組織での取組がわかるよう、明治十八年末の商業諸会社一覧を「岡山県統計書」より翻刻した。

都宇郡帯江新田村生まれの磯崎眠亀は、藺草による花莚製造に精魂を傾け、明治十一年錦莞莚を発明する。その後、博覧会での入賞、海外での販売等を経て、明治十八年九月、錦莞莚とその織機について、専売特許証を公布される。これらの関係資料を山陽新報のほか、国立国会図書館デジタルライブラリーで提供される「農商工月報」（岡山県勧業課発行、岡山県内未見）より収録する。またこの章に限ったことではないが、興味を惹く広告も収録した。

「交通通信」には、交通、郵便等にかかる資料のほか、土木開墾に係るものを収録した。これらの事業は、今日では公共事業と認識されているが、当時にあっては、私費で行い、通行料等を徴集する場合もあり、それに対して「制服巡査等への賃銭請求を禁ずる布達」が県から出されることもあった。

明治十八年には、岡山区で自転車に乗ることが流行するが、それに伴う事故も頻繁に起こった。山陽新報にこれを懸念する記事が頻出するが、ここでは、一般市民からの寄書を採り上げ翻刻した。

明治二十年には、山陽鉄道会社が設立され、県内でも会合が開かれるようになる。県内の停車場候補についても話題となっている。また、阪神地方の相場を電報を使わず「旗」によって伝える「旗相場」が復活するのも此の頃のことである。

最終の第五章は「教育文化」をテーマとした。教育関係では、岡山区小学校の学区合併の問題、岡山区で流行した幻

灯会の様子、第三高等学校医学部の岡山設置などの記事のほか、県内各地域の教育の現況を伝える資料を収録する。戦前における最も有力な教育団体であった岡山県教育会もこの頃設立される。また、山陽女子中学・高校の前身である山陽英和女学校も岡山区に設立され、まもなく現在地の門田に移転する。このほか、当館所蔵資料「和英学舎関係資料」から同校の入学願書を翻刻する。

新聞・雑誌の創刊は、民権運動の挫折から、この時期ほとんど見られない。明治前半期二十年までの新聞・雑誌創刊順の一覧を、本叢書及び関係資料を参照しながら表にまとめた。また、前高崎県令が強力に後押しして創刊した御用新聞「吉備日々新聞」は、後ろ盾を失ってからは、経営を続けることは困難で、明治二十年五月をもって廃刊の止むなきにいたった。

文化宗教関係では、正阿弥勝義や逸見東洋（大吉）ら、今日に名を残す工芸家の話題を収めた。総社周辺で起こった神道と仏教の論争は、しばらく山陽新報紙面を賑わした。

また、当時は、各分野の傑出した人物を選ぶ「十傑」等の投票が流行った。「岡山十傑」のほか、「津山十傑」、「真島郡高田村十傑」を収録した。

明治時代にはコレラが流行したが、明治十九年の岡山は、同十二年に次ぐ多くの死者をだした。「コレラ」の小項目を設け、国立公文書館所蔵「明治十九年岡山県虎列刺病流行紀事」から「病毒発生ノ原因及伝染ノ媒介」を収録するほか、同資料から県内避病院の見取り図を口絵に収録した。また、当時は虎列刺病の「虎」に勝つには「オオカミ」だとして、使者神がオオカミである上房郡今津村（現高梁市）の木野山神社の神輿を担いでコレラ退散を祈願することが流行っていたが、県は、多数参拝することは、却って病気を蔓延させるとして、多人数で同社を参拝することを禁じる布達を出している。なお、神輿を担いで病気退散を祈願する様子を描く「コレラ退散　狼様の渡御」の図を口絵に載せた。

最後に、本書を編纂する際に参考としたおもな参考文献

を各章ごとに紹介する。

一　『岡山県郡治誌』上巻（一九三六）
『岡山県警察史』上巻（一九七五）
『岡山県水害史　上』（一九〇一）
『岡山県政史　第一巻総編上』（一九四一）
『岡山県政史　明治大正昭和前期編』（一九六七）
柴田一、太田健一著『岡山県の百年』（一九八六）
『山陽新聞七十五年史』（一九五四）
『明治・大正・昭和の郷土史　岡山県』（一九八三）
『目で見る岡山の百年』（一九八五）

三　『岡山県会史　第一編』（一九〇六）

四　『岡山県史　近代Ⅰ』（一九八五）
『明治・大正・昭和の郷土史　岡山県』（一九八三）

五　『岡山県医師会史』（一九七四）
『岡山県教育会五十年史』（一九三六）
『岡山県教育史』中巻（一九四二）
『岡山県史　教育・文化・宗教』（一九八八）
『岡山市史　第六巻』（一九七四）
『岡山市水道史』史料編（一九六七）
『岡山大学医学部百年史』（一九七二）
『山陽新聞百年史』（一九七九）
『東天紅　明治新聞雑誌文庫所蔵目録』（一九七四）